

「SSAE16 Type2」で 健全なクラウド運用を見える化！

～SSAE16対応のPCAクラウドがもたらすメリットを
「内部統制評価」「クラウド選定」「グループITガバナンス」
の視点からご紹介～

2014.2.20

ピー・シー・エー株式会社
管理本部 佐藤正明

目次

1. PCAクラウドの概要
2. SSAE16とは
3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ
4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット
5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例
6. 今後の予定・まとめ

目次

1. PCAクラウドの概要

2. SSAE16とは

3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ

4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット

5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例

6. 今後の予定・まとめ

1-1 PCAクラウドサービス概要図

中堅・中小企業向け基幹業務システムにおいて、先進的で健全なクラウドサービスを提供しております。

利用会社

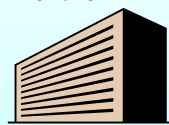


SSL通信



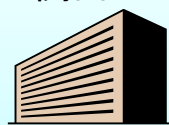
PCAクラウド

関東DC



国内大手データセンター

関西DC



国内大手データセンター

SSL通信



P C A

開発

検証

運用

企画

CA

TSC

✓ 緻密な連携

✓ 適切な職務分離

✓ 全社的な運用体制

1-2 PCAクラウド サービス提供状況

会計、給与・人事、販売・仕入などの基幹業務システムはもとより、公益法人、社会福祉法人、医療向け等PCAならではの業務システムまで、数多くのクラウドサービスを提供しております。

ERP

- ・PCA Dream21

財務会計



- ・PCA 会計 X
- ・経理じまん X



- ・PCA 公益法人会計V.12



- ・PCA 社会福祉法人会計V.5



- ・PCA 建設業会計V.7

給与計算/人事・勤怠管理



- ・PCA 給与 X
- ・給与じまん X



- ・PCA 人事管理 X
- ・PCA 就業管理 X

販売管理/仕入・在庫管理/顧客管理



- ・PCA 商魂 X
- ・PCA 商管 X
- ・PCA 顧客管理9V.2
- ・売上じまん X
- ・仕入じまん X

医療情報システム



- ・PCA 医療法人会計
- ・PCA HyMarks Clinic
- ・PCA Macs Clinic

税務

- ・PCA 法人税
- ・PCA 所得税
- ・PCA 減価償却V.3

(※)



【サービスイン】

※(2014年2月現在)

最新の提供状況は弊社ホームページにてご確認ください。(PCA公式サイト「pca.jp」)

1-3 SSAE16 Type2における評価対象

【2013年9月末基準日】の評価対象サービスにつきましては、従来からの「会計X」「給与X」はもとより、「商魂X」「商管X」など、現在サービスインしている「全てのクラウドサービス」に対応致しました。

ERP

- ・PCA Dream21

財務会計



- ・PCA 会計X
- ・経理じまんX

9、9V2、9V2R7の旧バージョンも含む



- ・PCA 公益法人会計V.12
- ・PCA 社会福祉法人会計V.5
- ・PCA 建設業会計V.7

給与計算/人事・勤怠管理



- ・PCA 給与X
- ・給与じまんX

9、9V2、9V2R7の旧バージョンも含む



- ・PCA 人事管理X
- ・PCA 就業管理X

販売管理/仕入・在庫管理/顧客管理



- ・PCA 商魂X
- ・PCA 商管X
- ・PCA 顧客管理9V.2
- ・売上じまんX
- ・仕入じまんX

医療情報システム



- ・PCA 医療法人会計
- ・PCA HyMarks Clinic
- ・PCA Macs Clinic

税務

- ・PCA 法人税
- ・PCA 所得税
- ・PCA 減価償却V.3

※(2014年2月現在)

最新の提供状況は弊社ホームページにてご確認ください。(PCA公式サイト「pca.jp」)

目次

1. PCAクラウドの概要

2. SSAE16とは

3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ

4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット

5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例

6. 今後の予定・まとめ

2-1 SSAE16報告書と活用イメージ(1/2)

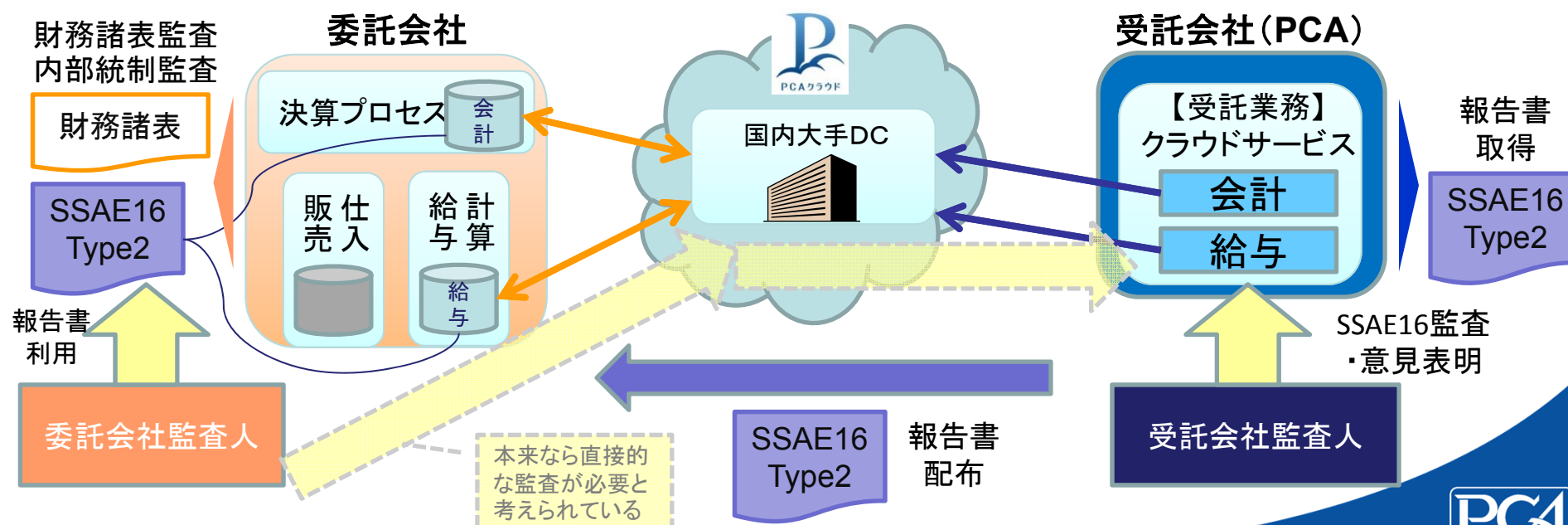
SSAE16(受託業務の内部統制)報告書による評価とはどのようなことか? なぜそのような評価をする必要があるのか? について活用イメージも合わせてご説明いたします。

受託業務の内部統制評価とは?

会計監査及び内部統制(※)の基準において規定
※米国(US-SOX)、日本(J-SOX)

- ・自社(委託会社)の財務報告に影響を及ぼすような業務を外部(受託会社)に委託しており、重要な内部統制が受託会社にある場合、適切な財務諸表の作成および報告がなされるためには、自社(委託会社)のみならず、受託会社に委託している委託業務に関わる内部統制も適切に整備・運用されている必要があります。
- ・そのため、委託している業務の重要性に応じて、受託会社の受託業務も内部統制監査の評価対象となる場合があります。

PCAクラウドサービスにおけるSSAE16報告書の活用イメージ



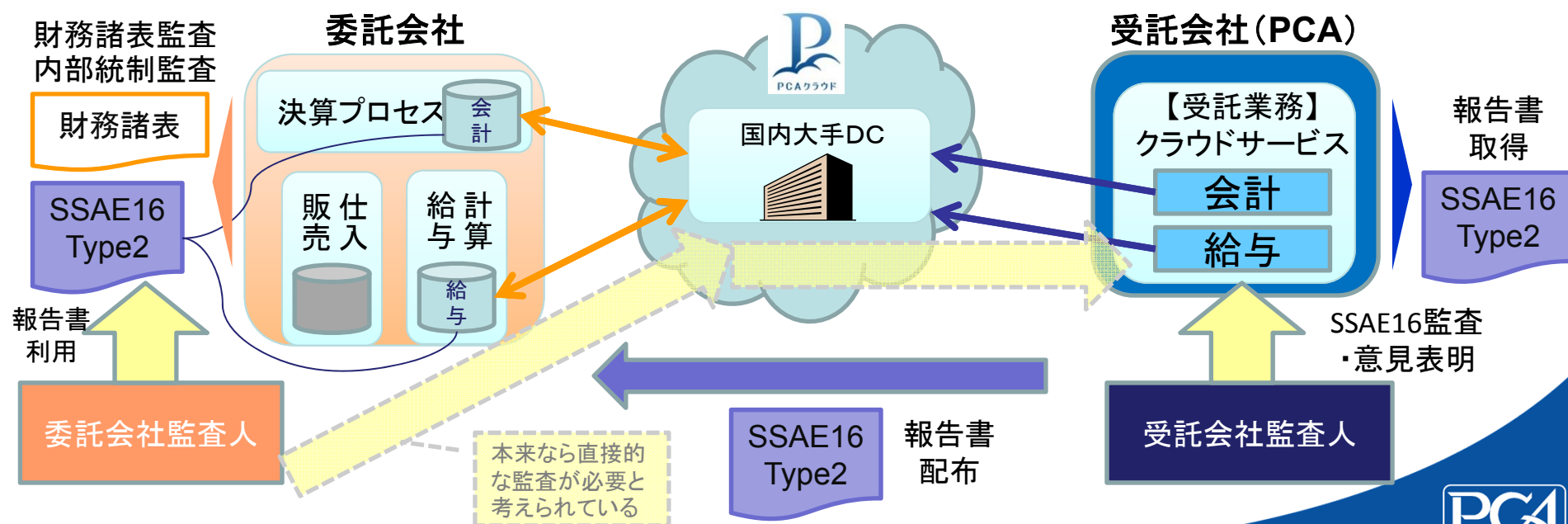
2-1 SSAE16報告書と活用イメージ(2/2)

SSAE16(受託業務の内部統制)報告書による評価とはどのようなことか? なぜそのような評価をする必要があるのか? について活用イメージも合わせてご説明いたします。

なぜ受託業務の内部統制評価が必要なのか?(特にクラウドサービスでは)

- ・受託会社に委託している委託業務(クラウドサービス)の内部統制が適切に整備されず、いい加減な運用が行われている場合、当該業務をもとに作成された委託会社の財務報告の適切性が担保されない
- ・特に、クラウドサービスでは、受託会社の運用・管理体制がブラックボックスになってしまい、委託会社には、どのように運用・管理されているのかが把握できないリスクがある。この状態を放置すると、受託会社の運用上の不備による思わぬ大事故(委託会社の預けているデータの大量消失事故など)に巻き込まれる可能性がある

PCAクラウドサービスにおけるSSAE16報告書の活用イメージ (再掲)



2-2 SSAE16と各基準との対応

特に、クラウドサービスによる受託業務の内部統制を評価する基準としては、クラウドサービスをリードする米国が策定したSSAE16による評価が主流であり、日米におけるクラウドサービス事業者が適用する基準としてのデファクトスタンダード(事実上の標準)となりつつある。

基準	策定団体	旧基準	新基準(現行基準)	スキーム	有用性
国際基準	国際 会計士連盟 (IFAC)	—	【ISAE3402】 International Standard on Assurance Engagements 国際保証業務基準3402	記述書及び記載されている内部統制について受託会社が確認する。一方、監査人も記述書と内部統制について評価を行い、その結果を基に意見表明をする。	○ 国際的だが各国基準と併用が多い
米国基準	米国公認 会計士協会 (AICPA)	【SAS70】 Statement on Auditing Standards No.70 米国監査基準書第70号	【SSAE16】 Statement on Standards for Attestation Engagements 米国保証業務基準書 第16号	新基準になり各基準がほぼ同じものとなった。	◎ 米国 日本 両対応
日本基準	日本公認 会計士協会 (JICPA)	【18号】 監査基準委員会報告 第18号 委託業務に係る統制 リスクの評価	【86号】 監査・保証実務委員会 実務指針第86号 受託業務に係る内部統制 の保証報告書		○ 国内 のみ 対応

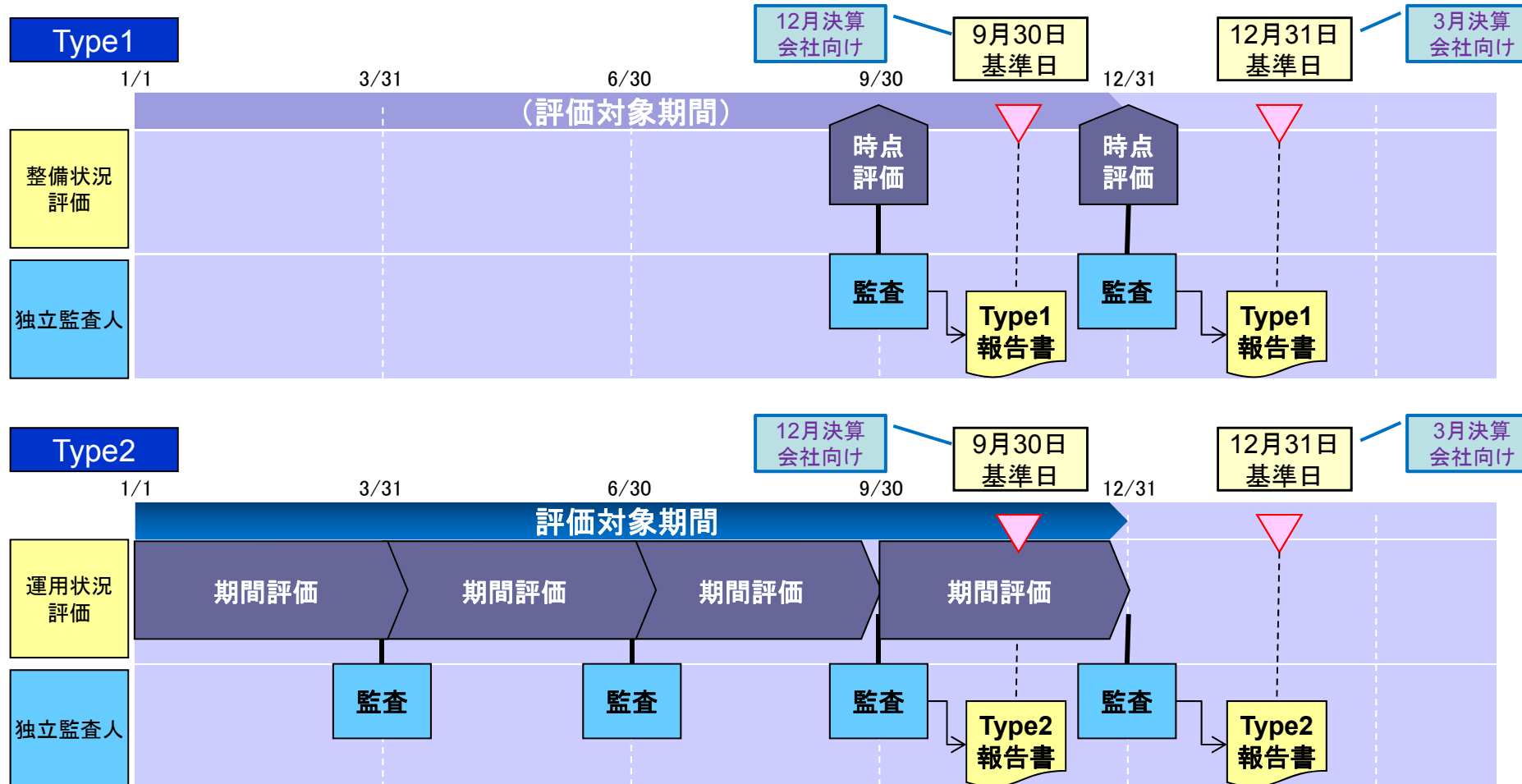
※有用性(◎○)については、資料作成者個人の見解です。

目次

1. PCAクラウドの概要
2. SSAE16とは
- 3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ**
4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット
5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例
6. 今後の予定・まとめ

3-1 SSAE16 Type1とType2の違い

SSAE16には、特定時点における内部統制の「整備状況」を評価する「Type1」報告書と、一定の期間にわたり「整備状況」と実際の「運用状況」の有効性を評価する「Type2」報告書の、2種類ある。



「Type2」は、継続的に受託業務に係る内部統制の「運用状況」評価を実施するため、委託会社における内部統制監査【J-SOX (IT統制)】に利用できる！

3-2 SSAE16 Type2の構成

報告書の作成においては、「受託会社」と独立監査人である「受託会社監査人」の責任主体が明確になっている。

構成部	レポート構成	具体的な内容	責任主体	
第1部	保証報告書	独立監査人の保証監査の意見 (※利用制限の注意書含む)	監査人	
第2部	受託会社確認書	受託会社が発行する宣誓書のようなもの	会社	
第3部	システムに関する記述書 (統制記述書) 1. 業務の概要 2. 会社レベルの内部統制 3. 統制目的及び関連する内部統制及び業務プロセス 4. 委託会社の相補的な内部統制	受託会社が受託業務の概要と整備した内部統制を記載する 1. 受託業務の概要 2. 全社統制 3. 業務プロセス・IT全般統制 4. 委託会社の協力のもと成りたつ内部統制	会社	▶ 内部統制の状況 ▶ 評価結果
第4部	受託会社監査人の実施した 手続内容、時期及びその結果 ・統制目的及び関連する内部統制並びに独立受託会社監査人による運用評価手続及び評価結果	受託会社の独立監査人が実施した運用評価の手続き及びその評価結果を記載する ・主に、3. 統制目的及び関連する内部統制(3. 業務プロセス・IT全般統制)の評価結果	監査人	
第5部	受託会社監査人の検証対象に含まれていない受託会社側からの情報提供	評価対象ではないものの、受託会社(受託業務)に関する補足的な追加情報を記載する	会社	

3-3 統制評価項目(第3部_3.IT全般統制)

米国や日本での内部統制制度における【IT全般統制】として一般的な、ITインフラを含むシステム・アプリケーションの「開発、変更、保守」、「アクセスコントロール」及び「システム運用」を評価対象範囲としている。

1 論理アクセス

1. 職務分掌(開発・運用の分離)
2. 本番環境(OS)(DB)のユーザーID管理(登録・削除)
3. 本番環境(OS)(DB)のユーザーID管理(アクセス制限)
本番環境(OS)(DB)のユーザーID管理(パスワード変更)
4. 本番環境(OS)(DB)のユーザーIDの棚卸
5. 本番環境(OS)(DB)の特権管理
6. 契約ユーザーに割り当てた領域へのアクセス制御
7. 本番環境へのアクセスログのモニタリング
8. 緊急時の例外的アクセス許可申請と報告
9. ネットワークセキュリティの保護
10. ウィルスチェック状況の管理・報告

2 物理アクセス

1. 月次モニタリング(月次運用報告)
2. 年次モニタリング(実地調査)

4 ITインフラの導入・保守

1. ITインフラの導入・変更の承認
2. ITインフラの保守
3. 構成管理

3 システムの開発・導入及び保守

1. システム開発、変更依頼
2. システム開発、変更の着手承認
3. 設計(外部設計、内部設計)およびプログラミング
4. システムテスト
5. 進捗管理
6. テスト環境の整備(本番環境との分離)
7. サーバーソフトウェアの本番移行(リリース)時の承認
8. サーバーソフトウェアの本番移行(リリース)結果の確認
9. サーバーソフトウェアの緊急リリース
10. クライアントソフトウェアの配布
11. サーバーソフトウェアの棚卸
12. クライアントソフトウェアの棚卸

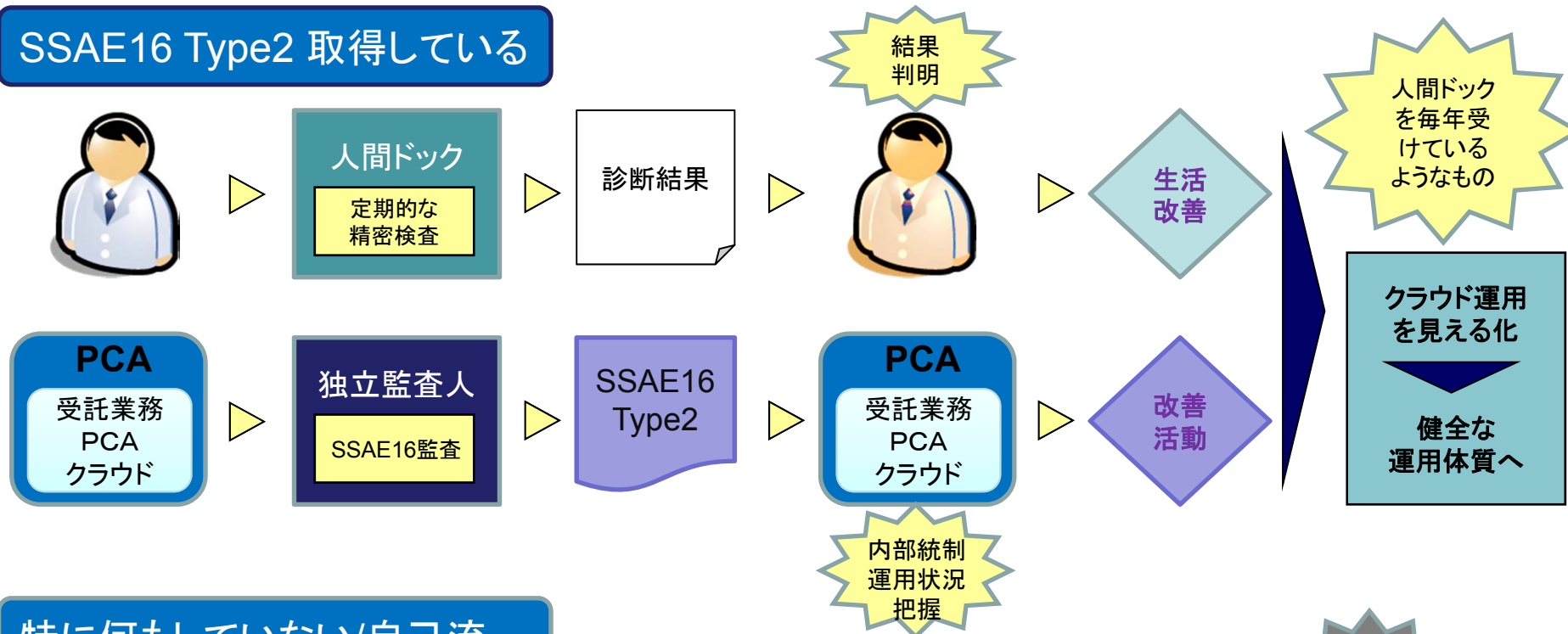
5 システム運用

1. 契約ユーザーIDの登録および領域割り当て
2. 自動運用プログラムへの登録、変更
3. 非定例処理の受入と実行
4. オペレーション記録の報告と確認
5. システム障害の管理(確認・承認済みの障害管理)
6. システム障害の報告(月次等)
7. データ、プログラムのバックアップ
8. 復元テスト
9. 本番データの修正

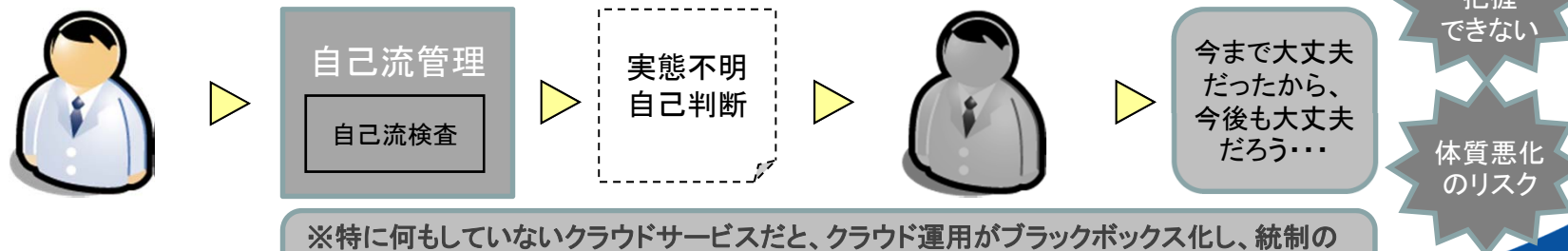
3-4 まとめ SSAE16 Type2によって・・・

第三者である独立監査人による「SSAE16 Type2」の継続的な監査を受けることは、まさに「人間ドック」を受けているようなものであり、健全なクラウド運用を可視化し、更なる体質強化へとつながっている。

SSAE16 Type2 取得している



特に何もしていない/自己流



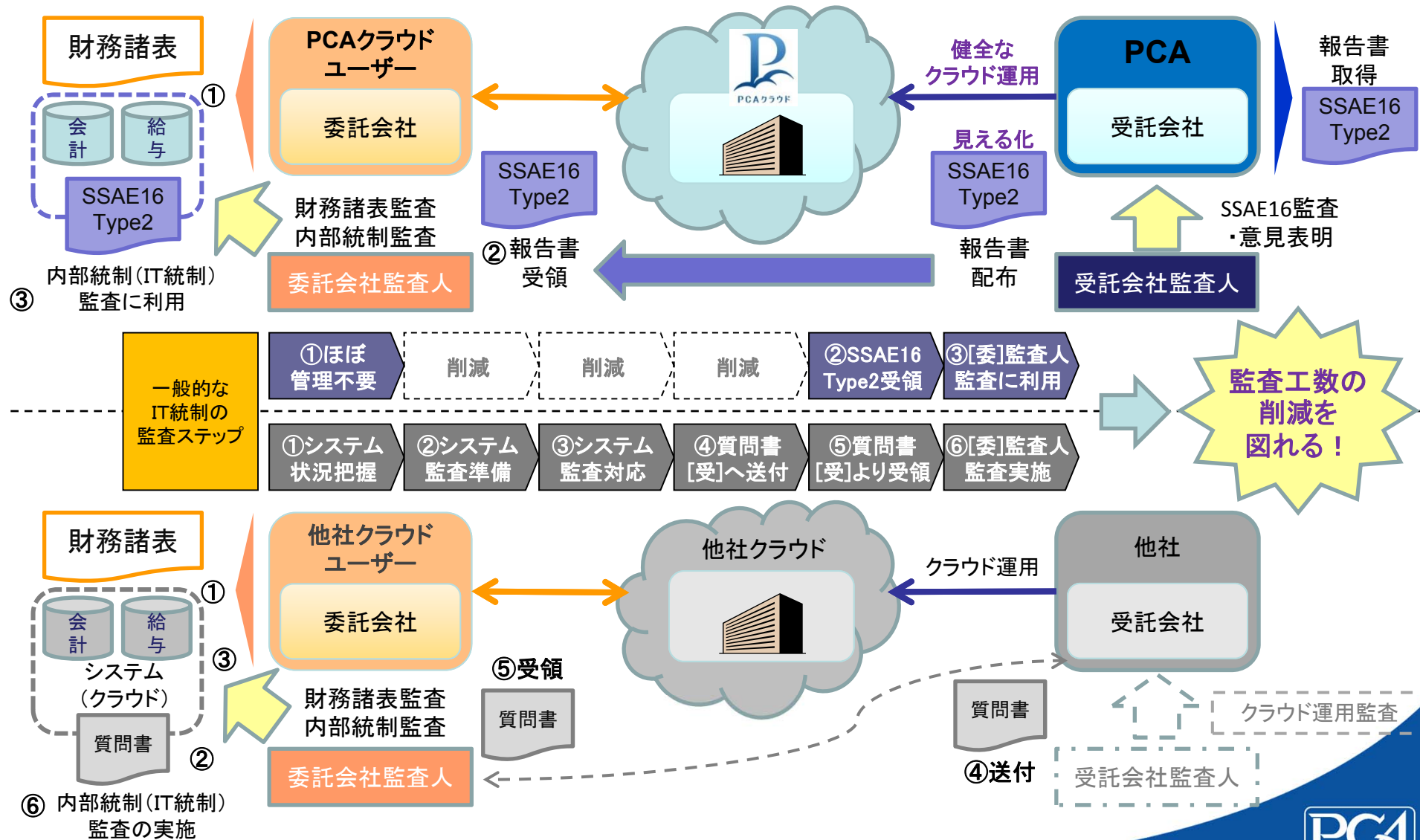
※特に何もしていないクラウドサービスだと、クラウド運用がブラックボックス化し、統制のとれた運用体制のもと、適切な運用管理が行われているか分かりにくい
(発生事例): 運用体制・手順の不備による「大量データ消失」が発生した事故など...

目次

1. PCAクラウドの概要
2. SSAE16とは
3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ
- 4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット**
5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例
6. 今後の予定・まとめ

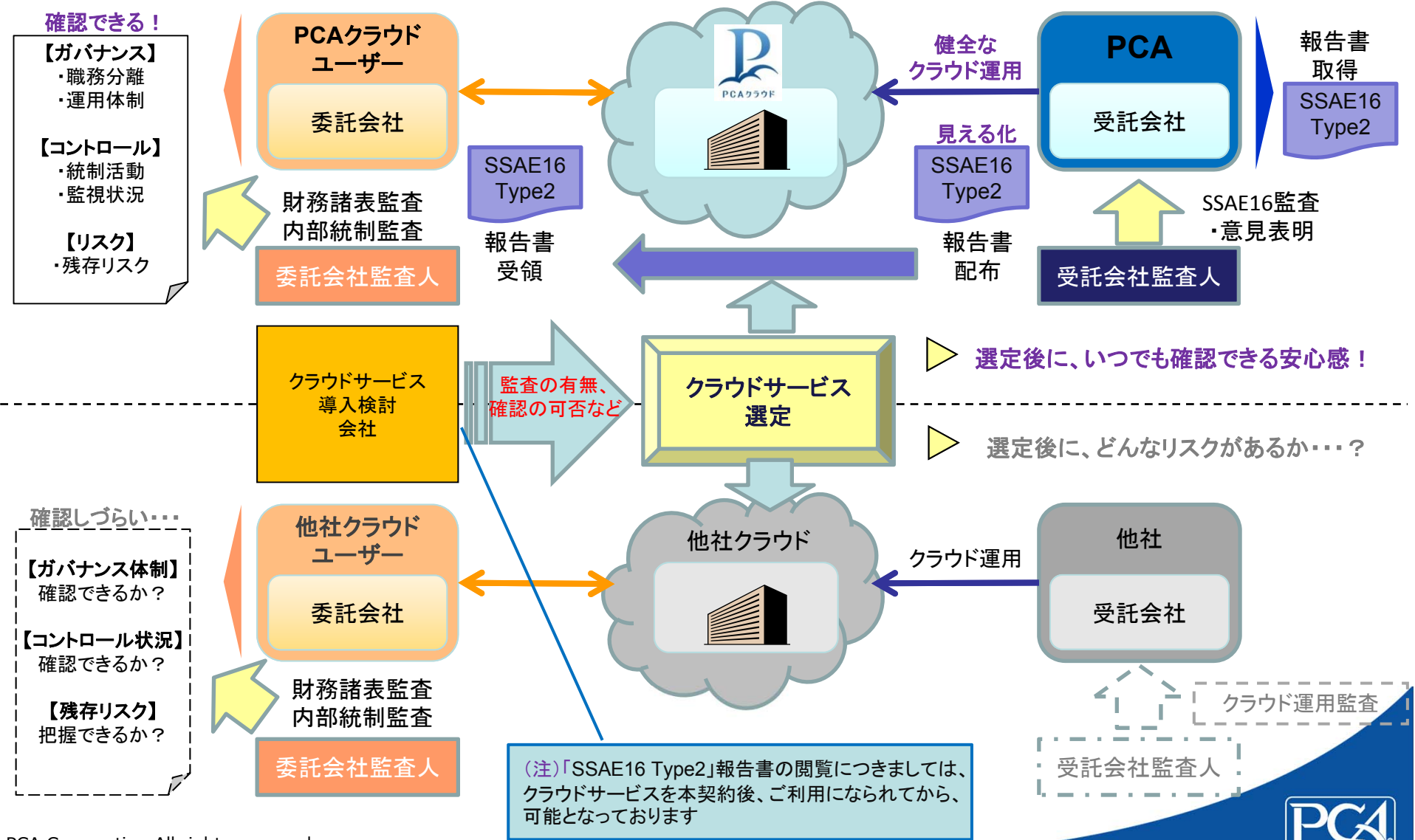
4-1「見える化」のメリット～内部統制編～

「SSAE16 Type2」対応のPCAクラウドにより、利用会社(委託会社)および利用会社の監査人(委託会社監査人)の内部統制(IT統制)監査に係る工数を、大幅に削減するメリットがあるとされています。



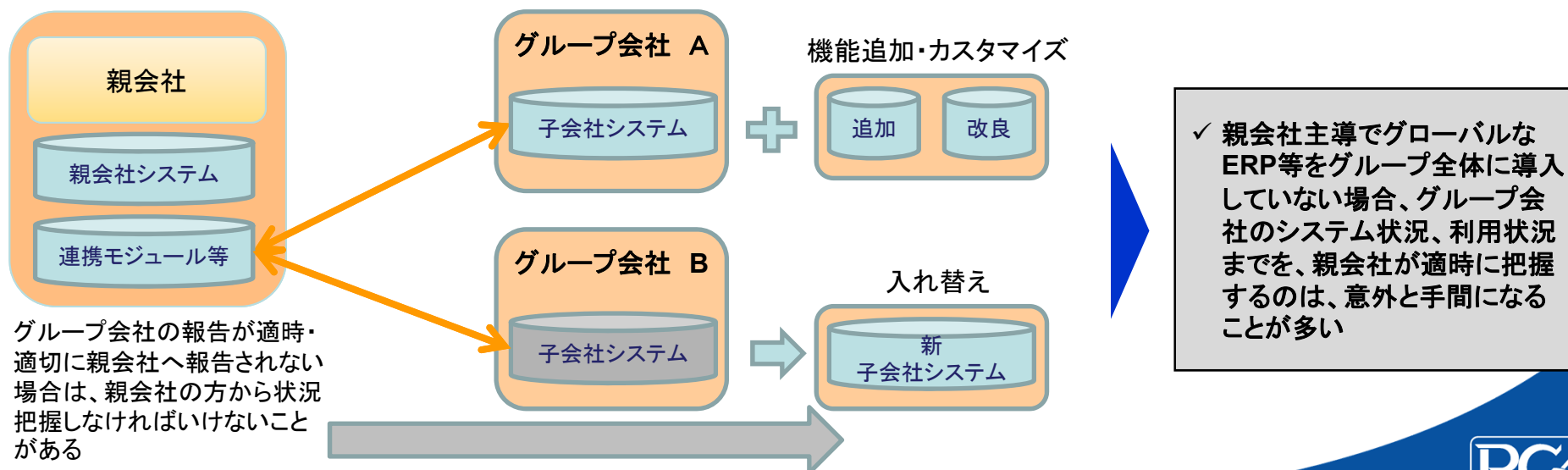
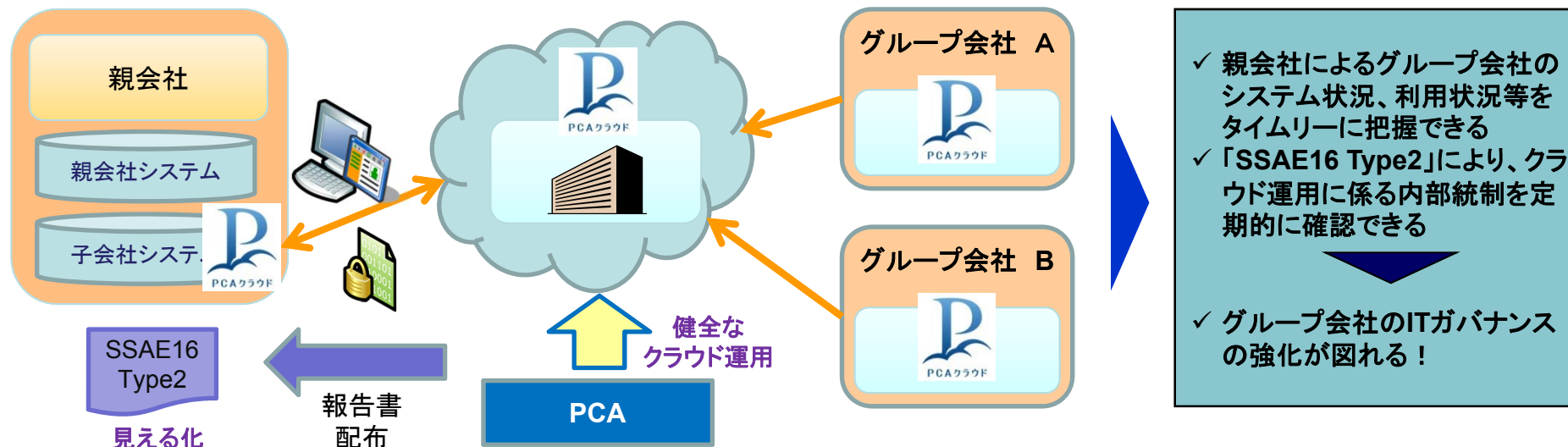
4-2 「見える化」のメリット~クラウド選定編~

他社のクラウドサービスとの選定(主に選定後)において、「SSAE16 Type2」対応のPCAクラウドは、クラウドサービス運用に関する内部統制(IT統制)に関する評価の有無や、状況確認できるメリットがあると考えております。



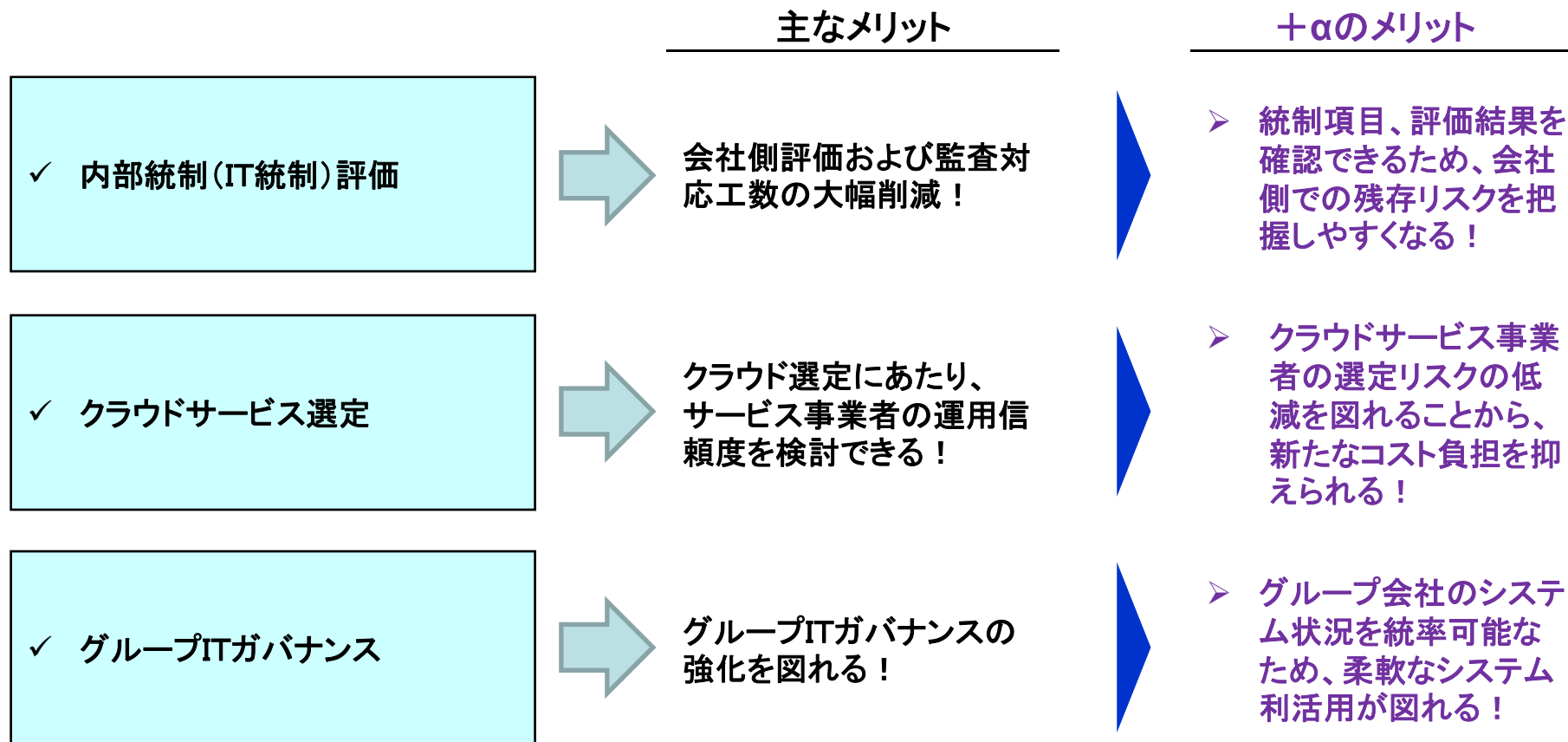
4-3 「見える化」のメリット～ITガバナンス編～

「SSAE16 Type2」対応のPCAクラウドにより、親会社がグループ会社のシステム状況等をタイムリーに把握し、管理し易いことから、グループITガバナンスの強化につながるメリットがあると考えております。



4-4「見える化」のメリット~まとめ~

「SSAE16 Type2」対応のPCAクラウドによる「見える化」のメリットは、以下となります。



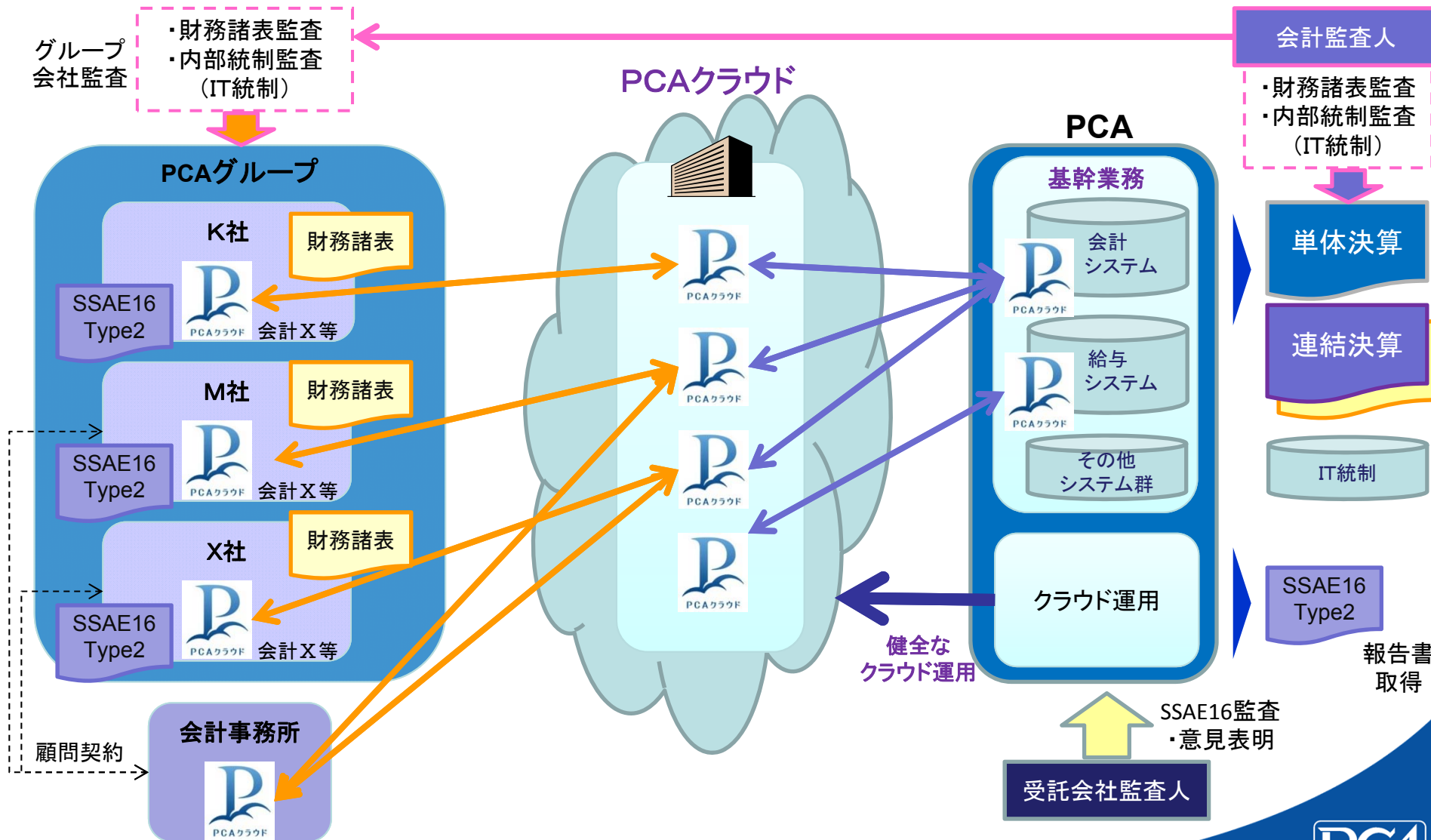
※「メリット」につきましては、弊社における適用実績をもとに記載しており、一般的に利用会社様にも同等の効果が期待できるものと考えております。

目次

1. PCAクラウドの概要
2. SSAE16とは
3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ
4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット
- 5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例**
6. 今後の予定・まとめ

5-1 PCAのクラウド活用~クラウド構成図~

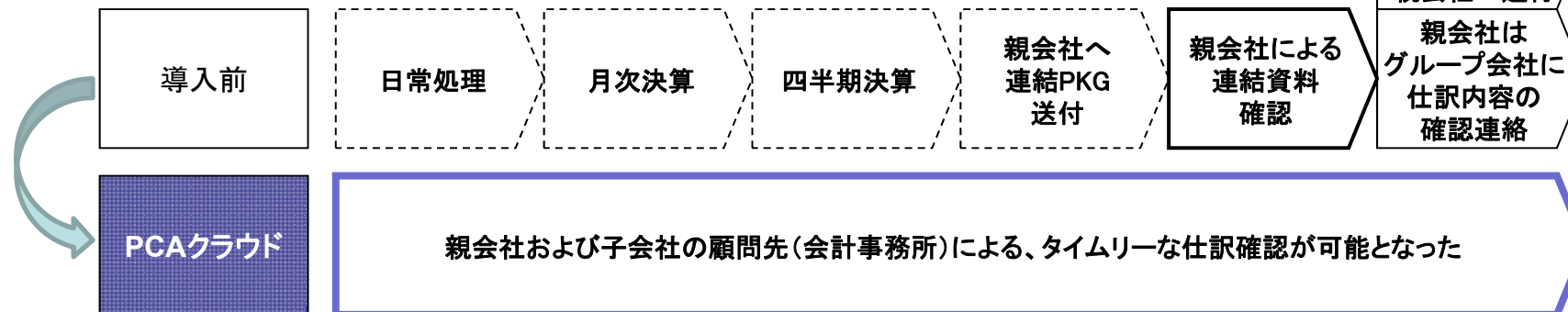
- ・PCAでは、全グループ会社にPCAクラウドを導入しております。
- ・クラウドのメリットを最大限に活かしながら、各社の独自性も尊重した、グループITガバナンスを構築しております。



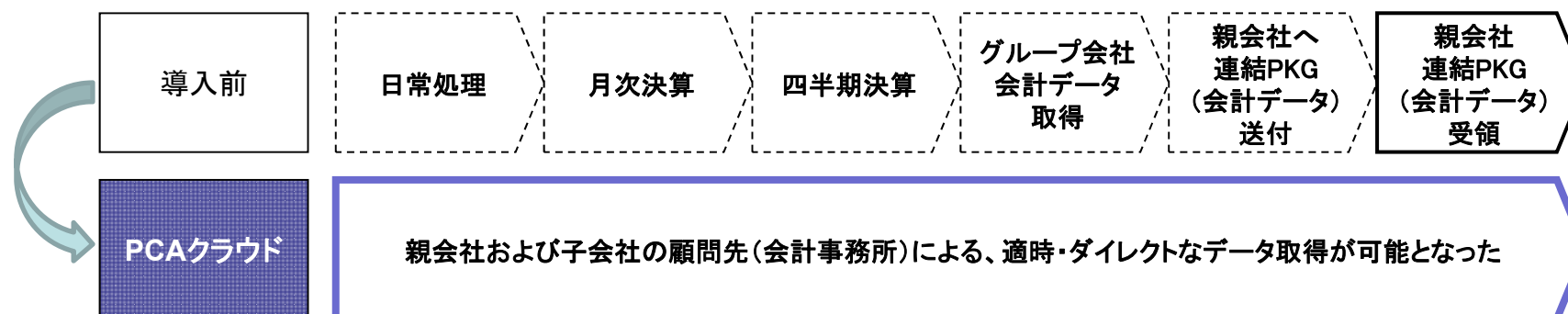
5-2 PCAのクラウド活用～決算プロセス～

タイムリーな仕訳確認とダイレクトなデータ取得により、決算プロセスの早期化・効率化を実現している。

✓ タイムリーな仕訳確認を実現



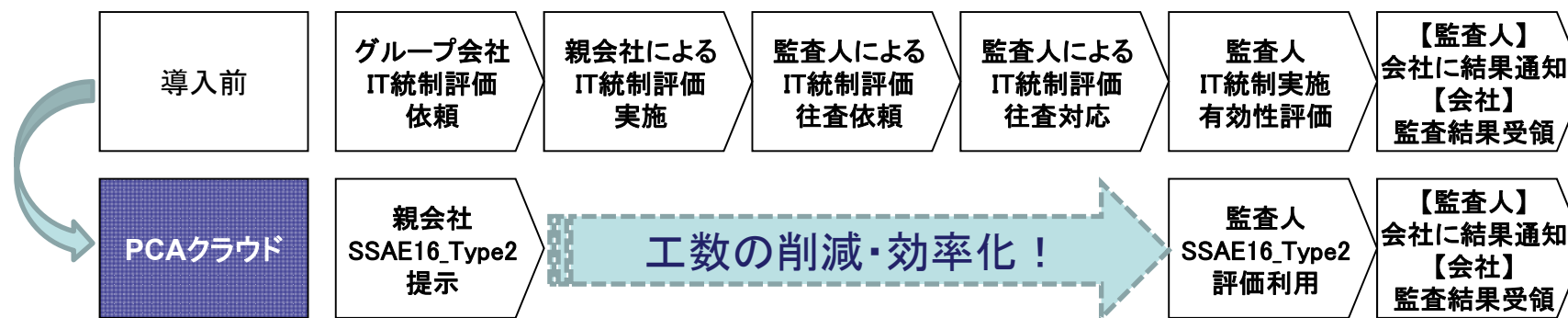
✓ ダイレクトなデータ取得が可能



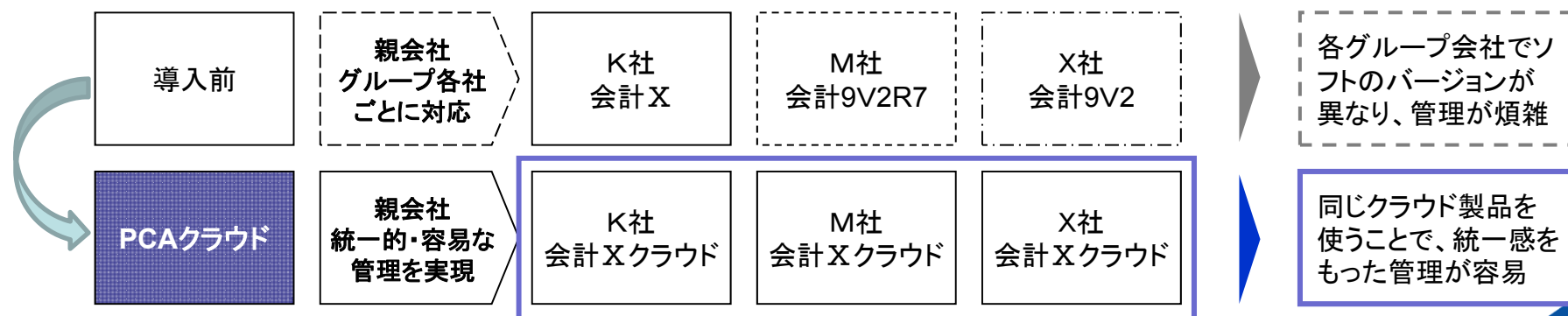
5-3 PCAのクラウド活用～監査・ITガバナンス～

内部統制(IT統制)監査工数の削減・効率化とグループITガバナンスの強化を実現している。

✓ 内部統制(IT統制)監査の効率化



✓ グループITガバナンスの強化



※
製品名及びバージョンは
例示です。

目次

1. PCAクラウドの概要
2. SSAE16とは
3. SSAE16 Type2報告書の概要と対応イメージ
4. SSAE16 Type2による「見える化」のメリット
5. 弊社PCAグループでのクラウド活用事例

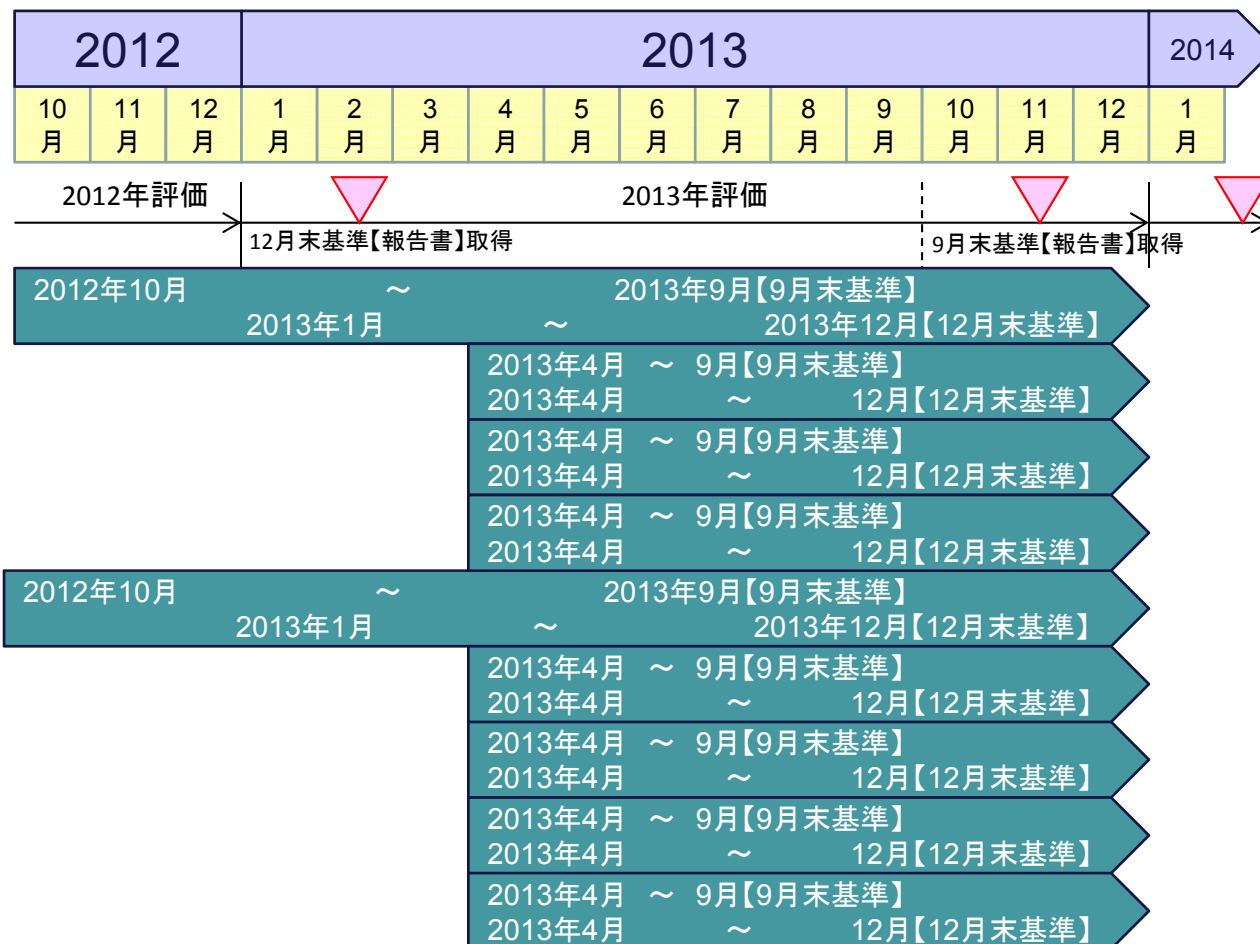
6. 今後の予定・まとめ

6-1 SSAE16対応状況

先行対応している「会計、給与」以外に、「商魂」「商管」「人事」などの基幹業務システムはもとより、「公益法人会計」「医療法人会計」など、現在サービスインしている全ての「PCAクラウドサービス」に対応致しました。



財務会計	・PCA 会計 X
	・PCA 公益法人会計V.12
	・PCA 社会福祉法人会計V.5
	・PCA 建設業会計V.7
給与人事	・PCA 給与 X
	・PCA 人事管理 X
販売仕入	・PCA 商魂 X
	・PCA 商管 X
医療	・PCA 医療法人会計



※(2014年2月現在)

最新の提供状況は弊社ホームページにてご確認ください。(PCA公式サイト「pca.jp」)

6-2 本セミナーのまとめ

- 1 SSAE16 Type2を取得できることは、高品質な受託業務(クラウドサービス運用)を提供できている「証」といえる
- 2 SSAE16 Type2は、継続的に、受託業務に係る内部統制の「運用状況評価」を実施するため、委託会社における内部統制監査【J-SOX(IT統制)】に利用できる
- 3 SSAE16 Type2による保証監査を受けることは、まさに「人間ドック」を毎年受診し、健康状態を的確に把握した上で、常に改善の取り組みを行っているようなもの
- 4 SSAE16 Type2による「見える化」のメリットとしては、「内部統制評価への利用」、「クラウド選定時の助け」及び「グループITガバナンスの強化」が考えられる
- 5 現在サービスインしている全てのPCAクラウドは、「SSAE16 Type2」報告書を取得しており、今後もサービス拡大に対して順次積極的に対応していく

PCAクラウドは、「SSAE16 Type2」で健全なクラウド運用を見える化し、
高品質で安心なクラウドサービスを提供しております

お問合せ先

ピー・シー・エー株式会社は、「SSAE16 Type2」取得により、クラウドサービスにおける更なる品質と信頼性の向上に努めるとともに、今後も革新的なクラウドサービスを提案してまいります。本日のテーマについて、個別のお問い合わせ等がございましたら、下記までご連絡ください。

- ・PCAクラウドサービス全般・当該「報告書」のご請求など……………連絡先
- ・本資料の記載内容(SSAE16 Type2)に関するもの……………資料作成責任者連絡先

連絡先

ピー・シー・エー株式会社

〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル
代表 Tel:03-5211-2700 Fax:03-5211-2740

pca.jp

資料作成責任者連絡先

管理本部

公認情報システム監査人(CISA) 佐藤 正明

sato-m@pca.co.jp

Tel:03-5211-2711